



資本力と技術

令和7年10月18日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

今日の産業の転換は、企業がその技術と資本において新たな未来の実現を可能とでいるものである。

これらは次世代基準への企業の転換であり、資本は未来への投資を与えることができるのである。

また資本主義において資本は大きな価値と意味を与える。これらが現実の創造を可能とでいるのである。

これらは市場原理と競争原理における経済の現実において、正しい視点である。今日の産業革命における企業の判断はこれらへの理解を有することが、新たな未来への参加を模索できるものであることは、正しいはずである。

これら企業における飛躍を求めるとき、基礎研究と応用研究における企業の技術やシステムの飛躍は、企業の未来そのものであることが理解できるのである。

また、グローバルスタンダードにおける資本基準、技術基準は企業における必達の要求である。これら現実が唯一未来への参加を与えるものであることは正しいと考える。

これらは次世代と新たな世界の現実と基準における企業の確立は唯一スムーズに世界と現実、未来への参加を与えることができるのである。

これらは時代と世界における新たな基準と常識への企業の完全な転換であり、それらは明らかに大きな企業の向上なのである。

これらは競争という現実に対する企業の万全性であり、それらは変化という現実に対して英亜奥的な企業経営の確立をその創造性とともに実現するものである。

これら経営基準と判断はそれら現実を与え、それらが未来という現実への参加を可能とするものであることは正しいはずである。